

## <統計トピックス>

### 地震対策をしていますか？

平成22年2月27日早朝に発生した地震に、皆さんも驚かれたのではないのでしょうか。記録によると、マグニチュード7.4、最大震度5弱で、おおよそ90年ぶりの大地震だったようです。皆さんのお宅では、地震の影響はありませんでしたか？そこで、平成20年に行われた住宅土地・統計調査から、住宅の耐震関係の資料を抜粋してみました。住宅・土地統計調査は、国勢調査をもとに調査区を抽出し、平成20年10月1日現在の住宅・土地の状況を調査、推計したものです。

#### 1.住宅の耐震診断の有無・購入・新築・建替等別住宅数(沖縄県)

耐震診断	購入時状況	総数	新築住宅を 購入	中古住宅購 入	新築	建て替え	相続・贈与	その他
持ち家総数		253,000	28,100	27,400	117,000	45,300	20,200	14,900
耐震診断をしたことがある		10,400	5,200	400	3,300	1,100	100	300
耐震性が確保されていた		10,000	5,200	300	3,100	1,000	100	300
耐震性が確保されていなかった		300	0	100	100	100	0	0
耐震診断をしたことがない		242,600	22,900	27,000	113,700	44,300	20,100	14,600

注)数値に関しては、10位で四捨五入しているため、内訳と合致しない場合がある。

上の表から、当県では大きな地震が少ないせいか、ほとんどの住宅で耐震診断が行われていないことがわかります。その中でも耐震診断をした住宅が1万軒あり、診断の結果、耐震性が確保されていなかった住宅が300軒もあったことがわかりました。

では、耐震工事の状況はどうでしょうか。今回の地震で、最大震度を記録した糸満市の改修工事の状況を見てみましょう(2表)。

#### 2.建物の構造・建て方・住宅の耐震改修工事の状況別持ち家数

ほとんどの住宅で、耐震工事が行われていないことが判ります。やはり、「沖縄には、大地震は少ない」という思いが大きいのでしょうか。

糸満市	総数	耐震工事をした	耐震工事をしていない
持ち家総数	9,900	100	9,800
一戸建	9,130	90	9,040
長屋建	50	-	50
共同住宅	680	-	680
その他	40	10	30

注)数値に関しては、1位を四捨五入している。

当県は住宅用地が狭いせいか、建物の1階部分に駐車スペースを確保するためのピロティー建築が多く、さらに屋上に水タンクが設置されている場合が多いことから、ひとたび大地震に見舞われたときは大きな被害が発生することが予想されます。

これを機に、耐震診断や耐震工事についても考えてみてはどうでしょうか。

